

曾孫の笑窪ふたつや木の根明く

元町 竹内スミエ

天を抜く空の青さや春深し

旭町 宝澤 房子

ふくら脛ほどの越冬大根かな

仲町 玉野 研一

四方の山斑となりて春兆す

南桜町 宮腰 幸子

拾ひ読む活字うすれて春おぼろ

藤本町 池田 良子

万愚節かつぎかつがる人も無し

仲町 徳井 隆男

生き過ぎと笑ふ媪に春日和

西岡町 渋谷みさ子

山笑う一滴あつめてダム満つる

西町 金澤 頼子

花だより日々のリズムを微調整

元町 印牧 安子

山あいに憩う湯治やなごり雪

緑町 齋藤 嘉子

窈窕ようちょうの媪に出合ふ利休の忌

仲町 坂部 和子

過ぎし日の峠の駅に桜咲く

元町 西崎 弘子

家中の笑顔背負って入学す

屯田町 古屋 克江

暮れ遅し夕餉の支度あたふたと

仲町 梅基 文字

ぶらんこに人形と居る風やさし

旭町 大河 博子

道はばの日増に広く春どなり

西町 岸波 君江

春の陽や希望あふれる畑仕事

藤本町 鈴木ゆき子

いつまでも子は幼くて春の山

西町 高井 孝子

はらからと語れる日永たまわりぬ

東町 高草木喜代子

隠れでる本音もありて万愚節

西岡町 高瀬久美子

足音もかるし今日から新学期

東町 高橋世津子

羽音立て真上の鴉春の風

西町 文梨 清子

納豆の糸に春日の絡みけり

仲町 芳賀 星子

久し振り笑顔揃えて露つゆの臺とう

旭町 大河 茂



## information 絵本の館から



『ベルナルさんのぼうし』

いまいあやの 作  
BL出版

友達が居なくても、ひとり気楽に過ごあくまのベルナルさんでしたが、ある日、お気に入りの帽子にキツツキが住み着いてしまいました。どんどん増えていく鳥たちが、ベルナルさんを変えていきます。



### 新着図書

- ・その鏡は嘘をつく (薬丸岳 著)
- ・ミッキーはなぜ口笛を吹くのか (細馬宏通 著)
- ・傷のあるリンゴ (外山滋比古 著) ほか

今月のおすすめ絵本



『おおかみだって きをつけて』

重森千佳 作絵  
フレーベル館

「おおかみと7ひきのこやぎ」「あかぎきん」「3ひきのこぶた」...どのお話も、恐ろしいおおかみが、弱い者を食べてしまいが、それは昔のこと。今は、おおかみだって襲われるかも知れません!